



高校「地歴科」教育・教員と地域歴史遺産

河島, 真

(Citation)

歴史文化をめぐる地域連携協議会予稿集, 12:33-34

(Issue Date)

2014-02-02

(Resource Type)

conference object

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81005450>



高校「地歴科」教育・教員と地域歴史遺産

神戸大学大学院人文学研究科 河島 真

1. 地域・大学・高校

- ・地域：地域歴史遺産の存在 保全・活用の主体（自治体・団体・個人等）
- ・大学：地域歴史遺産を活かした研究（理論含む） 保全・活用の支援
- ・高校：学習指導要領（教科書）に基づく教育（地域学習は小学校まで）
 - 地域と大学の連携は進展 but. 地域、大学と高校との連携は模索段階
 - 高校「地歴科」教育に地域歴史遺産を組み込むことの困難性
 - 高校の教科指導は学習指導要領による縛りが強い／②高校教員は忙しすぎる／学力（進学実績）を基準とした学校評価

2. 高校「地歴科」教育・教員と地域歴史遺産（可能性と必要性）

（1）「地歴科(社会科)」教員の能力

考古学・民俗学・文献史学の担い手／学校教育を通じた「社会改良」（「日登教育」）／社会を担う「市民」の育成（歴史教育者協議会の運動など）

（2）高等学校「日本史」教科書の制約

地域の歴史（地域の個性）を無視した平面的な歴史叙述（現代日本「国家」の生成過程）

（3）次世代を育成する役割

みずから地域歴史遺産の保全・活用の担い手になると同時に次世代の担い手を育成する役割（次頁の図を参照）

3. 神戸大学の取り組み

◎「地域文化を担う地歴科教員の養成」（2006～2007年度「資質の高い教員養成推進プログラム」（文部科学省）採択プロジェクト）

- 大学における地歴科教員養成科目「地歴科教育論」と高校における「総合的な学習の時間」をリンクさせ、地域をテーマとした課題研究を推進
- ・大学の有する資源（学術研究）と高校の有する資源（教育実践力）とを共有し、「地歴科（社会科）」教員をめざす学生の実践力と高校生の学習意欲・能力（地域への関心も）を相互に高め合う試み

4. 地域・大学・高校連携の課題

①自治体の関わり方（学校教育と社会教育の連携）

cf. 兵庫県立三田祥雲館高校の「探求」

②高校教員のスキルアップのための研修時間の保証

③高校で活用できる地域教材の作成（新しいタイプの自治体史）

